

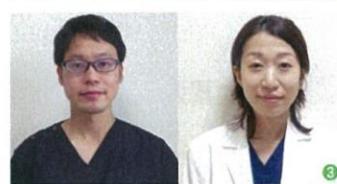
2021年8月 ホームドクター2021 掲載

医療ガイド 函館中央病院



1930年の開設以来90年以上にわたり道南地域の基幹病院としての役割を担っている。総合周産期母子医療センター、北海道小児地域医療センター、北海道がん診療連携指定病院、小児がん連携病院(類型3)、臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院

急性期・周産期医療の役割を担う チーム医療で安心の医療を提供



- ①高度医療機器の導入や更新も積極的に行っている(写真は2020年4月に更新した血管撮影装置)
②院内にはローソンやドトールコーヒーがありアメニティも充実
③2021年4月に糖尿病・内分泌内科を開設。専門医2人体制で診療にあたる(写真左から高橋科長、小野医長)

「かけがえのない命と健康」を第一に尊重する「心ある医療」を基本理念とし、最先端の急性期医療、難度医療の実践に努めている。道南唯一の総合周産期母子医療センターとして24時間体制で母体搬送ならびに低出生体重児を受け入れており、道南圏のハイリスクの妊娠や出産、低出生体重児のケアを一手に担っている。また、道南圏における小児医療の中核的な医療機関と認められ、北海道小児地域医療センターに指定されている。

内科医による総合診療の実践、

「断らない医療」の実践、地域医

療連携強化(総合医療支援センター設置)、市内2次救急輪番病院

としての救急医療体制の充実など、

地域での役割やニーズに応えるべ

くさまざまな体制整備に力を入れ

ているほか、高度医療機器の新規

導入や更新も積極的に行っている。

形外科は脊椎、上肢、下肢、リウ

マチの各分野で最もかつ最先端の治療を実践するべく、経験豊富な専門医が在籍し、国内最大級の診療体制を整えている。

北海道がん診療連携指定病院でも、がん治療を専門的に行う腫瘍内科を開設し、がん相談支援センターを設置するなど、がん患者の診療体制・サポート体制の充実を図っている。

2021年4月から糖尿病・内分泌内科を開設。糖尿病、内分泌疾患、肥満症に対して専門医2人体制で診断と治療にあたっている。「当病院ができることが何なのか、当病院がやるべきことが何なのかを考え、地域住民の皆さまのみならず、地域外の皆さまからも選んでいただけの病院を目指し、函館中央病院なら間違いない」、函館中央病院を受診してよかつたと言つていただけるよう精進してまいります」(本橋雅壽病院長)

内科・糖尿病/内分泌内科・消化器内科・腫瘍内科・神経内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・歯科口腔外科・病理診断科

社会福祉法人 函館厚生院
函館中央病院

診療時間/
月～金 9:00～11:30 14:00～16:00
土曜 9:00～11:30
※各科・曜日により異なるため要事前確認
休診日/日曜・祝日・年末年始
最寄りアクセス/
市電中央病院停留場から徒歩1分

0138-52-1231
函館市本町33-2
<http://www.chubyou.com/>



病院長
本橋 雅壽氏
1983年北海道大学医学部卒業。日本心臓血管外科学会国際会員。心臓血管外科専門医・修練指導医。日本胸部外科学会評議員。日本外科学会専門医・指導医。医学博士